

# 平成 29 年度 東京農工大学リーディング大学院プログラム履修生<10 月入学> 募集案内

## 1. プログラム概要

リーディング大学院では、修士課程（博士前期課程、専門職学位課程）に在籍している 1、2 年生を対象に、プログラム履修生を募集いたします。

「美しい地球持続のための全学的努力」を基本理念に掲げる東京農工大学は、農学部と工学部を併せ持ち、その融合分野を先進的に研究して、社会に貢献してきました。農学や工学の技術を基盤に、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦する人材を育成するために設立されたのが「リーディング大学院」です。生物システム応用科学府に食料エネルギーシステム専攻が設置され 5 年一貫教育を行っています。その理念に基づいた教育を全学で行うことを目的に、工学府、農学府及び生物システム応用科学府（生物機能システム科学専攻）の学生を対象にプログラム教育を行うことになりました。プログラム履修生は各専攻での教育に加えリーディング大学院で行っている教育を受けることができます。プログラム履修生は、文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」の予算期間内は RA としてリーディングプログラムでの活動をサポートされます。また、海外でのワークショップへ参加することもできます。本プログラムの趣旨を理解し、博士課程への進学を希望する学生の応募をお待ちしております。

### 目標とする人材像

- ・ 高度な実践型研究人材として、食料、環境、エネルギーの相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦できる人材
- ・ 複合領域に跨がる広い専門分野の人材を統率してチームを作り、コミュニケーション力をもって国際社会で活躍できる人材
- ・ 目標実現に向かって自らの洞察力で見出した課題について、強い意志で挑戦・実行・完遂できる人材

## 2. カリキュラムと修了要件

各専攻の修了要件の他、リーディング大学院のキャリア開発プログラム、社会交流科目、研究指導、成果発表、国際科目、専門科目の以下の科目と単位を取得し、Qualifying Examination(QE)に合格することをプログラム修了条件とする。取得総単位数は 18 単位以上とする。プログラムは、平成 29 年 10 月から開始する。

科目区分	必要単位数	概要
キャリア開発プログラム	4 単位	原則として翌年度の前学期に履修。 自己形成の目標設定とその実現に向けた方法を学ぶ。
社会交流科目	2 単位以上	国内外の企業においてインターンシップを行い、企業活動を経験する。
研究指導	4 単位	2 か所（B・C）の研究室等で研究指導を受ける。D1 に進級する時点で主指導教員 1 名を確定し、博士論文作成までにわたる 3 年間の主たる研究指導を受ける。

セミナー・成果発表	4 単位	プログラムでの活動や研究成果発表を行う。
専門科目	2 単位以上	グリーン・クリーン食料生産に関する専門科目。
国際科目	2 単位以上	英語環境でのプレゼンテーション、コロキウム、ワークショップ等への参加。
必修単位数	13 単位以上	
選択必修単位数	5 単位以上	
計	18 単位以上	

※QE について

Qualifying Examination (QE) は、博士後期課程 1 年次の後期 (QE1) と、5 年次生 (D3, 博士後期課程 3 年) に行います (QE2)。

3. 応募資格

平成 29 年度に本学大学院博士前期課程 (または修士課程、専門職課程) に在籍し、かつ修士号取得後は引き続き本学博士 (後期) 課程に進学する意思を有し、さらに本プログラムの教育・研究理念に合致する目標を持つ者。( \*本学農学部獣医学科学生については平成 28 年度における 5 年生または 6 年生を募集対象とします)

最終選考に合格し、本プログラムの養成対象者となった学生は所定の科目を受講し、一定の単位数を取得後に、プログラム修了証明書を授与します。

※応募にあたっては、主指導教員の承認を得て、研究内容及び面接試験日程等の確認を必ず行ってください。また、プログラム学生に採用された場合は、各指導教員へ連絡し、今後の研究計画等の打ち合わせを必ず行ってください。

4. 各種支援

リーディングプログラム生には、教育研究に専念するための経費や、国際学会等での発表を行うための各種支援等が用意されております。

(支援経費例)

RA 経費	リーディングプログラム生として教育研究に専念する環境を整備するための経費
特別研究経費	博士後期課程、博士課程の学生を対象とし、競争的資金獲得に必要なスキルを修得するための研究プロジェクト企画予算
海外短期派遣旅費	博士前期課程を対象に、国際学会発表のための旅費等の支援 (1 人 1 回)
海外研修等に係る支援	リーディングプログラムのカリキュラムである、研究指導 BC の実施や国際 WS 等に参加するための旅費等の支援

5. 応募・選考スケジュール

公募期間：平成 29 年 7 月 10 日 (月) ～28 日 (金)

第一次選考 (書面審査)：合格発表 8 月 8 日 (火)

第二次選考 (面接審査)：平成 29 年 8 月 23 日 (水)

## 6. 選考基準

1次選抜：書類審査

学力（学部での成績等）、志望理由等から総合的に評価する。

2次選抜：面接諮問

以下の内容に関する10分間のプレゼンテーションおよび質疑応答（計20分）により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲、博士課程進学への意思 などについて総合的に評価する。

① 本プログラムへの志望動機

② 修士課程での研究の概要と、本プログラムを通じた今後の研究の現時点での展望

③ 本プログラム修了、学位取得後の将来構想

## 7. 採用予定人数

1、2年合わせて、15名程度を予定しています。

## 8. 書類送付先・問い合わせ先

東京農工大学 学務部 教育企画課 TEL：042-367-5882

Mail：kkikaku@ml.tuat.ac.jp